

加圧・圧送式ブレーキブリーダー

電源・エア要らずのハンドポンプ仕様!
4種類のアタッチメントで軽～小型トラックまで対応!
加圧圧送式なのでABS車も怖くない!

仕様

軽自動車～小型トラックの
ブレーキフルード交換及びエア抜き工具
圧送圧力 (MAX) : 1.4Kpa
タンク容量 : 3ℓ
付属ホース : 3m
重量 : 約 3.25kg



付属品

ジョウゴ



チェーン式固定金具



OM-35-A

OM-35-B

OM-35-C

OM-35-D

※ 別途オプションアタッチメントが必要な車種があります。
※ 廃油受けタンクは別途ご用意ください。

◆オプション (クラッチブリーダージョイント用)



OM-120-BJ



OM-50A-BJ

◆◆◆注意事項◆◆◆

- ※ タンクは非分解です。
- ※ 圧送圧力は1.4Kpa (レッドゾーン) を超えないように注意してください。
圧力が高すぎる場合はリリースバルブボタンを押して圧力を抜いて下さい。
- ※ 本体タンクでフルードを保管しないでください。
タンクは完全密閉構造ではありません。
- ※ 必ず作業車両の整備要領書を確認し、注意事項・作業ポイントなどはメーカー指示に従ってください。
- ※ ポンピングはゆっくりと行ってください。急激に加圧するとホース接続部が外れ、フルードが飛散します。
また、キャビテーションにより気泡が発生する可能性がありますのでエア抜きが完了しません。
- ※ 直射日光のあたる場所へ長時間放置しておいたり、圧力のかかったままにしておきますとタンクが劣化し、破裂する恐れがあります。

【複写厳禁】

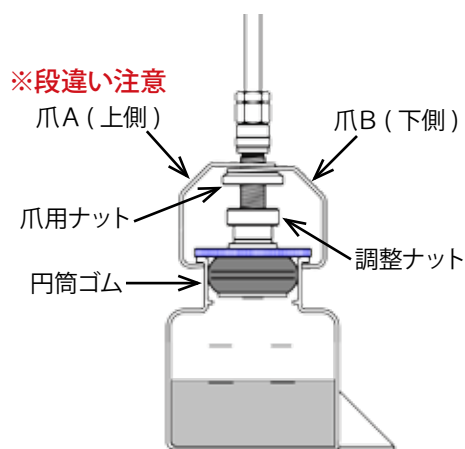
OM-120 加圧・圧送式ブレーキブリーダー 取扱説明書

- ① フルード交換の場合は、古いフルードを抜き取ってください。
エア抜きの場合も、ロアレベル程度まで抜き取ってください。
- ② 本工具のリリーバルブを取り外し、ジョウゴを取り付けてブレーキフルードを本体へ注ぎ入れてください。
- ③ 車両のブレーキリザーバータンク内径に適合する可変式アタッチメントの調整ナットを締め込み、円筒ゴムをタンクに密着させます。アタッチメントは固定金具で確実にセットしてください。

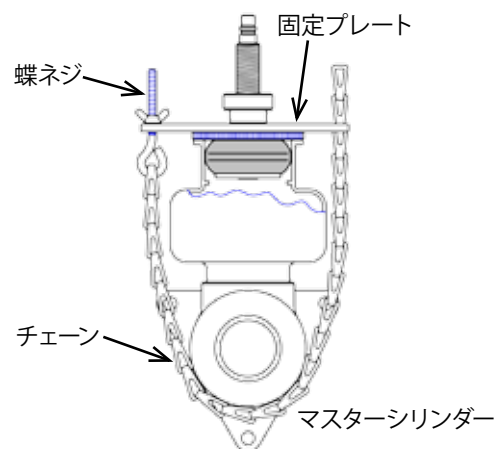
アタッチメントの適合サイズ

型 式	適合リザーバー内径
OM-35-A (小)	φ 18 ~ φ 30
OM-35-B (中)	φ 30 ~ φ 45
OM-35-C (大)	φ 45 ~ φ 60
OM-35-D (特大)	φ 60 ~ φ 75

爪式固定金具の取り付け方



チェーンプレート式固定金具の取り付け方



- ④ 接続キャップをアタッチメントに取り付ける前に、本体のリリーバルブを取り外しタンク内の圧力が抜けていることを確認してください。
圧力がかかった状態で接続しますとブレーキフルードが飛散します。
- ⑤ 接続キャップを取り付け、ハンドポンプをゆっくり上下させて圧力を 1.0 ~ 1.4kpa まで高めていきます。この時タンクからフルードが漏れてくる場合はリリーバルブのボタンを押して圧力を抜き再度アタッチメントの取付をやり直してください。
- ⑥ 作業車両の整備要領書に従ってマスターおよびホイールシリンダーからエア抜きの作業を行ってください。
- ⑦ 作業終了後、リリーバルブのボタンを押してタンク内の圧力を 0 まで解放してください。その後、接続キャップ・アタッチメントを取り外してください。
- ⑧ ブレーキフルードを入れたまま保管しないでください。

※オプションのクラッチブリーダージョイントは、クラッチリリースシリンダーのブリーダープラグからリザーバータンク側へ圧送してエア抜きをするときに使用します。



OM-120-BJ
ワンタッチロックのブリーダージョイント

ブリーダージョイントを押しながら
リングバネをスライドさせて
ロックします